

地銀を

未来へ導く

株式会社 ACD

情報通信業 ● <http://acd.jp.net/>

地方銀行が抱えるシステム老朽化問題

地方銀行（地銀）では、膨大になる開発・運用コストを抑制するため、複数の銀行が共同で勘定系システムの開発・運用を行う「共同センター」が導入された。2000年代初期から始まり、今や9割以上が共同センターに加盟している。しかし、導入から20年が経過した今、大きな課題に直面している。共同センターの利用が長期に渡った結果、新たなIT・デジタル技術への機動的な対応の困難さ、銀行内のIT人材不足・ノウハウの希薄化が露呈した。さらには共同センターの開発・運用コストの合理性にも疑問が投げかけられるなど、当初メリットであったITコストにも課題が指摘され始めている。

地域人材が解決する

ACDは、Area・Contribution・Developmentの頭文字であり、地域社会経済に貢献し、より展開できる企業を目指すという思いが込められている。地域人材の活用を事業目標に掲げ、盛岡を基盤に、各金融機関が抱えている経営課題の解決を得意としている。金融機関のシステム開発とシステム導入コンサルティングを通じ、高齢化社会の人材不足などの社会課題を解決テーマとして事業を進めていく。

DX化・AI活用が鍵

マイナンバーカードの普及の遅れ、データセンター設置の遅れなどもあり、本格的なDX（デジタルトランスフォーメーション）化とAI活用は未だ実現には至っていない。しかし、地方が抱える社会問題の解決には、これらを推進し、活用していくことが鍵になる。加えて、地方創生の中核を担う金融機関への支援は、地方社会の持続化の観点からも重要な要素だ。地銀のDX化やAI化を進めることとなる今後、ACDの存在意義は大きい。

代表者からのメッセージ

代表取締役社長
浅沼 映夫



当社は、金融システムのコンサル及びシステム開発を基本とした業務を行っているため、人が財産であることから、人事制度の見直しと半日休暇制度の導入を始めとする労働環境の充実を図っております。また、人事制度との連携を図る社内研修制度による、入社後の新人・中堅・管理職候補の研修制度によってスキルアップを図り、全国で活躍できる人材の育成を目標としている企業です。皆さん、当社の一員として金融システムに携わり、社会の課題解決と一緒に実現してみませんか。

キラリPoint▶▶▶



Company DATA

- 事業内容/コンピュータシステム及びソフトウェア設計、開発・保守業務。ITコンサルティング。ソフトウェアの受託開発。労働者派遣事業。
- 資本金/500万円 ■従業員数/6名(女性 3名) ■平均年齢/49歳 ■設立/2014年4月 ■売上高/6,082万円
- 初任給/168,600円(大卒) 164,800円(短大卒・専門学校卒) 161,000円(高校卒)
- 福利厚生/社会保険完備、家族手当、住宅手当、通勤手当、退職金制度、健康診断、中小事業主掛金納付制度、資格取得報奨金制度
- 休日・休暇/完全週休2日制(土・日・祝)、年間休日125日、年末年始休暇(12/28~1/3)、会社創立日4/14、年次有給休暇、半日有給休暇制度あり

【本社所在地】 〒020-0021 盛岡市中央通1丁目6番30号 パレ日影門201号 ☎019-613-2236

